



プレゼントが届いたよ！

ひかりのこつうしん

No.9



ひかりの子幼稚園

2021年12月

「クリスマス会その後」

今年のクリスマス会は保護者のみなさまと共お祝いすることができ、本当にうれしいひとときでした。

ご来場いただきましたこと、心より感謝いたします。

年長組ページントは一つの役を選びやり通しました。役は子どもたちの話し合いで決めましたが、第1希望の役になれなかった子もいました。「でもあの役やっぱりやってみたかったな」という気持ちに寄り添い、毎年、年長組はクリスマス会の翌週「お着替えごっこ」をするのが恒例です。1番なりたい役の服を着て歌う、演じる、踊る。リラックスした雰囲気の中、ホールは子どもたちの明るい笑い声に包まれていました。

いつもはそこで終わっていたページントが今年はまだ続きがありました。お着替えごっこで盛り上がった後、あるクラスは「役の総入れ替えでもう1回ページントをやりたい！」と子どもたちから声が上がりました。その役決めは本当のクリスマスの時よりも時間がかかりました。なぜかという「私は羊飼いの2番がやりたい、僕はナレーターの4番がやりたい」と、友達がやっていたのを見て、あこがれ、熱望する役を明確にそれぞれが持っていたからです。結局1回では調整がつかず、2日間かけてホールで2回総入れ替えで再演することになり、本番かと思うくらい真剣に、そして一人一人が演じることを楽しんでいました。他学年でも「もう1度お客さんの前でやりたい」と子ども達から要望があり、さくら組、こりす組、職員室の先生、バスのおじちゃんに招待状が届きドキドキワクワクの再演となりました。行事が終わったら「はい、終わり」ではなく達成感や余韻を楽しみ、「もっと、もっと」と自分たちでやりたいことに向かっていく姿に感心させられた取り組みでした。

クリスマス会の翌週、サンタさんからのお手紙の予告通り、クリスマスプレゼントがクラスに届いていました。「トナカイの足跡があるねん、園長先生見てみ！」と年長組の男の子に手を引かれて足跡を見に行きました。それはコンクリートについたペンキの汚れだったのですが、「ほんまやあ」「トナカイが運んできてくれたんや！」と子どもと一緒に驚き、その日は園内が不思議な楽しいファンタジーの世界に包まれていました。



トナカイの足跡？

あるクラスではサンタさんにプレゼントのお礼のお手紙を書こうと、サンタワールドのフィンランドの住所を調べて、お手紙を投函しに行きました。船便の切手は90円、飛行機便は110円だということも調べ、飛行機便で送りました。お返事、来るといいですね。その他、異年齢交流など各クラスの活動の様子がホームページに12月の各クラスだよりが掲載されていますので、ご覧いただければ幸いです。

入園して間もない頃、自己主張の塊だったお子さんが1年、2年、3年と人とのつながりの中で大きく変化し、成長する姿を私たち保育者は幾度となく見てきました。泣いたり、怒ったりなど自己主張もたくさんし、自分をさらけ出しました。でもこの時期はそれでいいのだと思います。わがままも、自分本位もすべて出し切って、それを友達や先生が受け止め、認めてくれる経験を重ねる中で、次第に情緒が安定し、そして自己抑制ができるようになります。それらの経験が土台となり、次のステップへと成長していくのだと思います。

人には神さまから与えられた「よくなりたい」と思う力が備わっています。もうすでに種は蒔かれており、その種がいつ芽を出すのかはわかりません。でも暖かい太陽の陽ざしと、心地よい水とふかふかに耕された土があれば必ず芽は出て根を張ります。いつか北風に激しく吹かれても、嵐の中をさまようことがあっても、根がしっかりと張っていれば必ず立ち直る力(レジリエンス)がその人の中にはあると信じています。私たちはその太陽や、水、土となり、子どもたちとともに歩んでまいります。2学期の様々なご理解とご協力に心から感謝して……。楽しい冬休みをお過ごしください。 園長 松本 直子